

花フェスタコングランプリ決定 写真/古川新さん スケッチ/松本麻鈴ちゃん

4月に岡岳総合運動公園で開催された宇城市フラワーフェスタの写真コンテストと親子スケッチ大会の審査が5月20日、市役所で行われました。

審査の結果、写真コンテストで古川新さん(64歳・八代市)の「きれいでまようね」が、親子スケッチ大会で松本麻鈴ちゃん(8歳・松橋町曲野)がグランプリに選ばれました。

その他の入選者は次のとおりです。(敬称略)

【写真コンテスト】応募164点

◆準グランプリ 岩見良城(三角町)、有働元實(松橋町)、倉橋清春(熊本市)

◆入選 磯崎一恒(熊本市)、牛島健一(熊本市)、浦津辰男(不知火町)、大河清水(松橋町)、岡田孝一(熊本市)、坂本正幸(菊池郡合志町)、澤本征華(小川町)、田路俊人(松橋町)、西山勤(熊本市)、浜田勲(熊本市)

【親子スケッチ大会】応募60点

◆準グランプリ 岩井ゆみ(城南町)、松本茉李南(松橋町)、前村あい(不知火町)

◆佳作 渡邊禎香、軸屋陽介、大田黒桃花、宮田修平、池田真志、匠涼太郎、野口結衣、加々山遥(以上松橋町)



★写真コンテストグランプリ
古川新さん(八代市)「きれいでまようね」



★親子スケッチ大会グランプリ
松本麻鈴ちゃん(松橋町曲野)

耕作放棄地をなくそう！ 農業の多面的機能確保を目指してフォーラム

5月26日、「中山間地域直接支払制度」の有効利用を目的とした「三角町農業農村集落ビジョンづくりフォーラム」が三角センターで開かれ、農業者ら約300人が参加しました。三角町中山間地域直接支払協定協議会の主催。

各地区の農家代表3人が制度の活用状況などを発表。高齢化や労力不足に悩む現状を語りつつ、「農家ごとに将来の展望を思い描けば、おのずと集落全体の展望も開けていくのでは」などと抱負を語りました。

その後、山都町井無田集落の原田茂さんが「集落ビジョン策定への取り組み」と題し先進地としての事例を発表。「集落点検・農地保全マップ」や農機の共同購入などの活動状況を紹介しました。※中山間地域直接支払制度…中山間地の農家や集落に交付金が支給され、耕作が支援される制度。集落協定に基づき、5年間以上継続して、耕作や農用地等の管理を実際に行う人が対象。



制度の活用状況などを発表する農家代表の3人。
左から森岡堅さん(三角・戸馳地区代表)、中山保美さん(郡浦地区代表)、坂田誠一さん(大岳地区代表)

山都町の原田茂さんによる
先進地事例の発表

児童らがコートの中で大暴れ ミニバスケットに12チームが熱戦

6月4日、5日、第20回三角B&G会長杯ミニバスケットボール大会(宇城市教育委員会ほか主催)が開催され、旧宇土郡と宇土市内の小学生女子による12チームが出場。三角B&G海洋センターと青海小学校体育館で熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

【優勝】不知火小学校

【準優勝】青海小学校

【3位】緑川小学校、花園小学校



相手ディフェンスをかいくぐりゴールはすぐそこ！

まちを花でいっぱい 豊野町商工会女性部が花プランターを配布

豊野町商工会女性部(野田裕子部長)のメンバー約10人が5月23日、環境美化ボランティア活動の一環として花いっぱい運動を行いました。

地元老人会が、種から育てたマリーゴールドなどの花苗約150本を提供。プランター40鉢に植え付け、豊野公民館や豊野福祉センターなど町内の主な公共施設に配布しました。

この活動は同部が毎年実施しているもの。部員らは「よかったね、雨降らんで」と言いながら笑顔で作業をしていました。



愛情込めて植え付けを行う部員たち

東田慎一さんが建設マスターに 17年度優秀施工者国土交通大臣顕彰を受章

5月31日、東田慎一さん(松橋町西下郷)が「優秀施工者国土交通大臣顕彰」を受章しました。この顕彰事業は、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している方々に誇りと意欲を持ってもらおうと、平成4年度から行われているものです。

東田さんは宇城市内で水処理設備の設計・施工・管理をする会社を経営しており、水処理技術の高さが認められました。「水処理一筋40年、この仕事が好きでやってきた。このような章をもらうとは思ってもみなかったが、やってきてよかった」と受章の喜びを語りました。

今後とも卓越した技能・技術にさらに磨きをかけ、後進の指導・育成等、幅広く活躍されることが期待されています。



東京都のメルパルクホールで行われた顕彰式典に出席した東田さん

楽しみながら交通マナー再確認 松橋交通安全ゲートボール大会

第19回松橋交通安全ゲートボール大会が5月24日の朝、豊福グラウンドで開かれ、19チーム約100人が参加しました。ゲートボールを楽しみながら正しい交通ルールやマナーを学び、また習慣づけることで高齢者の事故防止を図ろうと、毎年実施しているものです。

競技は同大会のための特別ルール。交通安全帽を着用した参加者たちは、コート内に描かれた横断歩道を手を挙げて渡り、交通マナーを身に付けながら楽しそうにプレーしていました。



プレーの合い間に交通マナーを再確認する参加者たち